

「人口構造からみた超高齢社会のあり方」

～長寿社会に生きる 人生90年時代～

我が国の総人口が減少する中、65歳以上の高齢者人口のみが唯一増加し、75歳以上の人口は15歳未満の人口にほぼ匹敵するなど、我が国は世界的にも類まれなる長寿社会に突入しております。

このような中、健康寿命を支えていくためには、人とのつながりが不可欠であるとともに、エイジング・イン・プレイスに代表される住みなれた地域での日常生活を支えていくための生活環境の整備などが強く求められております。

そこで今回は「人口構造からみた超高齢社会のあり方 ～長寿社会に生きる 人生90年時代～」をテーマとして、ジェロントロジーの第一人者であり、高齢者の心身の健康や経済、人間関係の加齢に伴う変化を20年に亘る全国高齢者調査で追跡研究をされるとともに、超高齢社会のニーズに対応するまちづくりや長寿社会におけるよりよい生のあり方を追求されておられる東京大学高齢社会総合研究機構特任教授の秋山弘子氏をお招きし、超長寿社会をよりよく生きていくための様々な取り組みやその成果と今後の課題・展望についてご講演をお願いすることといたしました。

ご多忙の折とは拝察いたしますが、まちづくり、住宅・医療・介護・生活支援などに携わる皆さまの日頃の実務に大変参考となると存じますので、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

日時 ▶ 平成27年2月26日(木) 14:00～16:30

場所 ▶ 日本消防会館 5F大会議室

講演 ▶ 「人口構造からみた超高齢社会のあり方」

～長寿社会に生きる 人生90年時代～

講師 ▶ 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 **秋山 弘子 氏**

参加費
無
料

会員以外の方の参加
(無料)も受付けていま
すので、皆さま方のご聴
講をお待ちしています

秋山弘子氏 氏 (あきやま ひろこ)

イリノイ大学でPh.D (心理学) 取得

米国の国立老化研究機構フェロー、ミシガン大学社会科学総合研究所研究教授、東京大学大学院人文社会系研究科教授、日本学術会議副会長などを経て、現在、東京大学高齢社会総合研究機構特任教授。

専門=ジェロントロジー (老年学)。

高齢者の心身の健康や経済、人間関係の加齢に伴う変化を20年に亘る全国高齢者調査で追跡研究。

近年は、超高齢社会のニーズに対応するまちづくりにも取り組むとともに、超高齢社会におけるより良い生のあり方を追求。

■ アクセスマップ ■

日本消防会館 (ニッショーホール) 5F大会議室
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目9番16号
TEL : (03) 3503-1486

- 東京メトロ銀座線
虎ノ門下車 2番・3番出口徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線
神谷町下車 4番出口徒歩10分



お問合せ先 人にやさしい建築・住宅推進協議会事務局 藤原、堀井、依藤
電話 03-3206-6437 FAX 03-3206-5256

「人にやさしい建築・住宅推進協議会講演会」 参加申し込み用紙

「人口構造からみた超高齢社会のあり方」

～長寿社会に生きる 人生90年時代～

【申し込み期限：平成27年2月23日（月）】

【送付先】	
人にやさしい建築・住宅推進協議会事務局 藤原・堀井・依藤あて	
(一般財団法人高齢者住宅財団内)	
FAX 03-3206-5256	
貴社名・所属団体名	
参加者氏名	
	計名
電話番号	
FAX番号	
電子メール(任意記入)	

※ 事務簡素化のため参加証は発行いたしませんので、当日、受付にて法人名とお名前をお申し出ください。